

第58回 富士市展図録

市

展

FUJI CITY ART EXHIBITION

2024

写真・工芸・彫刻の部

絵画の部

書道の部

主催 富士市

令和6年度 第58回 富士市展

- | | | |
|-----|------------|-----------------------|
| 第1期 | 写真・工芸・彫刻 | 令和6年6月7日(金)～6月9日(日) |
| 第2期 | 絵画・デジタルアート | 令和6年6月21日(金)～6月23日(日) |
| 第3期 | 書道 | 令和6年7月5日(金)～7月7日(日) |

会場 富士市文化会館（ロゼシアター）展示室

主催 富士市

目 次

ごあいさつ	1
第1期 写真	2
写 真	3
工芸・彫刻	10
染 織	11
陶 芸	14
工芸総合	16
彫 刻	18
第2期 絵画	19
洋 画	20
日 本 画	28
デジタルアート	33
第3期 書道	34
毛 筆	35
硬 筆	49
入賞者・入選者一覧	54
作品応募状況	57

ごあいさつ



令和6年度第58回富士市展図録の発刊に当たり、あいさつ申し上げます。

富士市展は、市民芸術の創作発表や鑑賞の機会を市民の皆様に提供し、市民文化が発展向上していくことを目的として、毎年開催しております。

富士市展が今年で58回目を迎えることができましたのも、作品を出品いただいた市民や招待作家の皆様、審査員の先生方、そしてご指導をしてくださる先生方など、芸術に携わる多くの方々のお力添えの賜物であり、厚く御礼申し上げます。

今年は、初の試みとなるデジタルアートの部を新設しました。こちらは審査の対象ではありませんでしたが、39点の出品をいただき、新しい世代の新たな表現手法が発展していく様子を垣間見ることができました。

本図録には、審査の対象となる、写真、工芸、彫刻、絵画、書道の全232点の力作の中から、審査によって入賞されました優れた作品を掲載しております。

これらの作品の一つひとつは、本市のブランドメッセージである『いただきへの、はじまり 富士市』が表すように、チャレンジ精神を持って自らの「いただき」を目指す皆様の成果であると思っております。今後も、市民の文化芸術活動の推進のために、より魅力ある富士市展であるよう努めてまいります。

結びに、第58回富士市展の開催にご尽力いただいた関係者の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げ、発刊のあいさつとさせていただきます。

富士市長

小長井 義正

審査員紹介



遠藤 桂
箱根写真美術館 館長

総評

色々なアートシーンが写真で表現されていました。撮影場所も津々浦々、頑張って撮影されていると思います。その中で今回選考させていただいたものは、技術的にピントや露出の正確さ、構図の安定感、見る者にうったえかける厳しさや楽しさ、美しさです。富士市に生活してよかったこれからも頑張れるぞと感じさせられるものです。

今回入賞されませんでした作品も、これからも生活の一部としての写真、温かい感情をもった写真を作り続けてください。

■ 入賞作品 ■

第1期

入賞作品写真



大賞

振り返った Ayu

湯川 正一 富士市中島

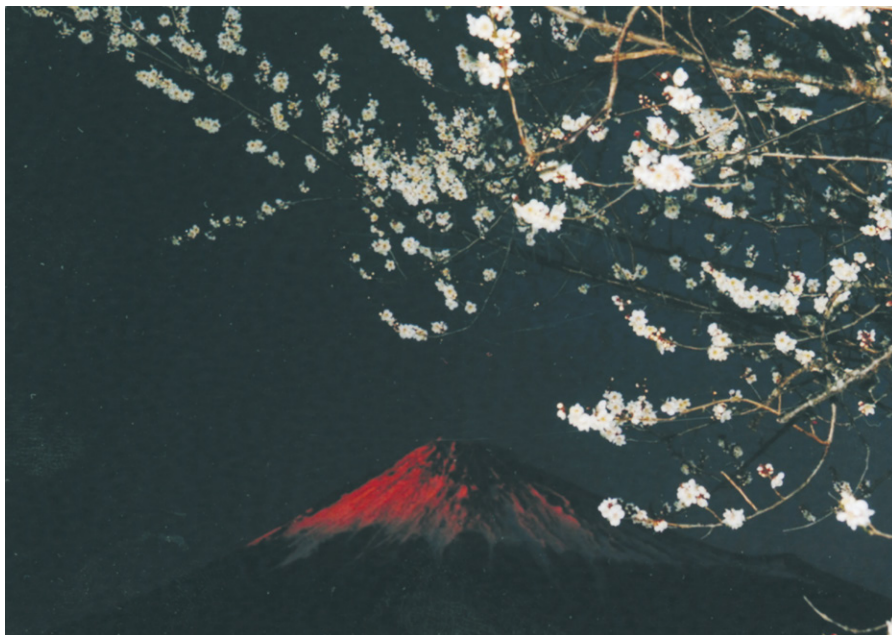
猫の視点とは考えさせられます。人間のレンズとぶつかり合う瞬間をうまくとらえています。体のブレによる躍動感、とても素晴らしい作品に仕上がっています。構図もちょうど黄金点に顔が来ていて安定していると思います。次回から外側にも少し空間があれば、もう少し空気感が出てバリエーションが増すと思います。

優秀賞

夕照

加藤 年一 富士市天間

ストロボを使って作為的に花に対しての強弱をつけています。富士山のピントをずらして色で表現しています。構図も対角線に変化を持たせています。自分の意志で表現できていると思います。暗い中から妖艶な富士山、とても迫力があります。次回は富士山にピントを合わせたり、両方にピントを合わせたりして新しい作品作りに励んでください。



優秀賞

凜として

鎌野 信義 富士市今泉

花火師の力強さと花火が全体の画面で表現されています。中心の花火が少しオーバー気味ですが、それが火力の強さを表現していると思います。足の踏ん張りや角度も丁度よく、地面との水平をまっすぐにすれば、もっと良くなると思います。

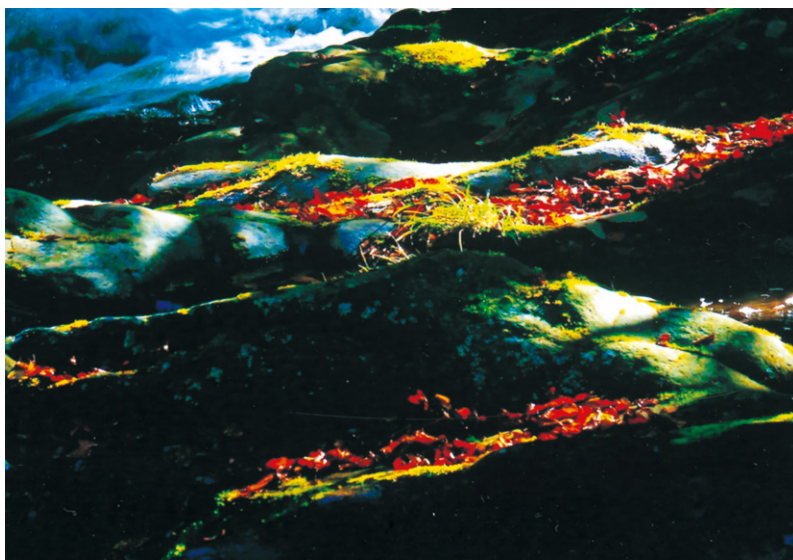


優秀賞

妖艶なる宴

横山 茂 富士市石坂

全体のやわらかい感じがいいですね。パステルトーンに仕上がり、かといってピントも正確です。静かな中にやわらかい色の変化がすばらしく思います。こんな静かな時をゆっくり絵作り出来る事はとてもすばらしいです。構図上で少し木端がセンターからずれています。どちらかによせると、もっと良くなると思います。



奨励賞

晩秋の溪谷

井上 沙登子 富士市中里

少し逆光気味の光を良くとらえています。黒い影の部分で全体に絞った印象が表現出来ています。落葉の赤と苔の緑との調和がすばらしい。水に濡れた岩とのコントラストも良く表現されています。左上の溪流をもう少し多く入れてくるともっと動きがでるでしょう。



奨励賞

なきずもう

大竹 康江 富士市松岡

「元気に育てよ」。声が聞こえてきます。未来は楽しくむっちりとしたその足で歩いてください。全体にピントがきているので、子供達だけに合わせるともっと良くなります。頑張って！もっと素晴らしいアングルを見つけてください。



奨励賞

おいさー、吹雪舞う

加藤 供子 富士市宮島

山車の位置、右側の空間、花吹雪の舞い方とても良いバランスです。左側からの太陽の光の指し方もよかったです。少し難しいとは思いますが、山車上の人物の表情にも気をつけるともっと良くなると思います。

奨励賞

ハッピー ニューイヤー

後藤 尚 富士市神谷

新年を友達と迎える楽しさが写真いっぱい伝わってきます。巣立った後もまた、ここでむかえようと伝わってきます。防波堤の上の人物を整理すればより良くなります。頑張ってください。



奨励賞

春到来

小林 斐子 富士市大淵

やさしい海ですね。風も穏やかで春の到来とはこんなものだと思います。船上の化粧姿の若者、色とりどりの大漁旗、ブレもなく穏やかな気持ちにしてくれます。一つ左側が切れているので、少し引き気味に表現してもらってもっと良くなります。



奨励賞

気嵐

野口 勝子 富士市西柏原新田

寒いのに頑張りましたね。風が強いと思いますが、中々ブレもなく仕上がっています。レンズの解像度が上がれば、もっとシャープネスも上がり、迫力の有る写真で撮れると思います。よい瞬間を待って良い作品作りに励んでください。



奨励賞

カメラ・メン&初日

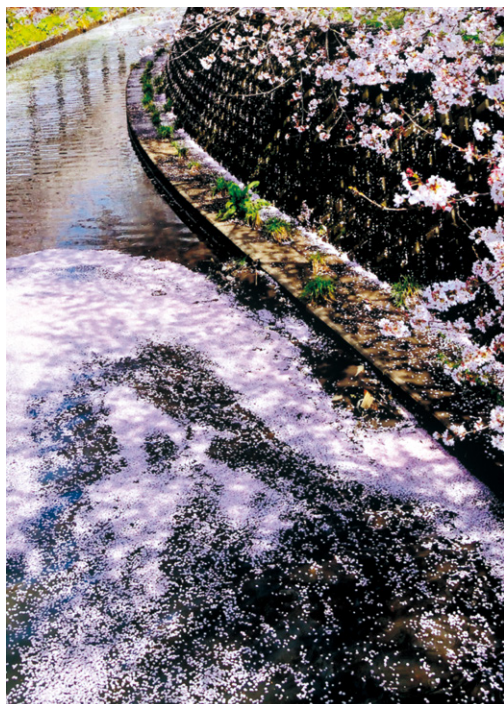
山崎 光夫 富士市森島

人の列が少し右上がりで見え、動きが表現されています。そして太陽の光、黒、オレンジ、青でうまく写真に仕上げました。今後は広角レンズでももう少しパースをつけると迫力がでくると思います。

招待作家作品

第1期

写真
招待作家作品



花筏

遠藤 泰弘

富士市元町



秋色の水面

原田 光郎

裾野市千福が丘



仲良しグループ

平井 省吾

富士市厚原



花筏

渡邊 信孝

富士市伝法

審査員紹介



小枝 真人

日本工芸会 正会員
愛知県立芸術大学 准教授

総評

今回ここに来る際、間近に雄大な富士山を見る事ができ、とても清々しい気持ちで会場入りする事ができました。そこに並んだ作品たちを観た時には、全体的におおらかで力強く、そして優しい温もりが感じられ、まるで富士山の様だと思いました。

アートや工芸の世界でもデジタル技術が目まぐるしく進んで来て、刺激的な表現が増長されて来ている現代、自らがその土地で感じ吸い上げて来た物を、時間をかけ丁寧に積み上げ、作品にして行く大切さを改めて感じました。

総評

不確かで不安定な世の中である今日、たくさんの力強い生き生きとした手仕事が見えたことは、私自身勇気づけられ、ものづくりの素晴らしい価値をあらためて感じました。今回の入賞・入選作品は、作者それぞれが制作を楽しみ、多様な色とかたちに彩られた作品が多い印象を持ちました。素材の持つ力を真摯に受け取り、技法の特徴とその面白さを掴み、創意工夫して表現しているかという観点で審査させていただきました。



荒 姿寿

染色家
女子美術大学 准教授

■ 入賞作品 ■

第1期

工芸（染織）
入賞作品



大賞

やかん 12 態

石川 三幸 富士市大淵

独自の視点で切り取られたその模様に見応えがあります。近寄った時に見えてくる“かたち”は大変ユニークで作者のつくる喜びが伝わる秀逸な作品です。配色をさらに研究されるとより一層独創性が高くなると思います。



奨励賞

アイヌに魅せられて

福西 真由美 富士市中島

遊び心に溢れた模様とアシンメトリーな構成が魅力的な作品です。型を彫ることで生まれる形の“きわ”の表情にキリッとした明快さがあります。今後もダイナミックなパターンを活かした模様と配色を期待しています。

招待作家作品

第1期

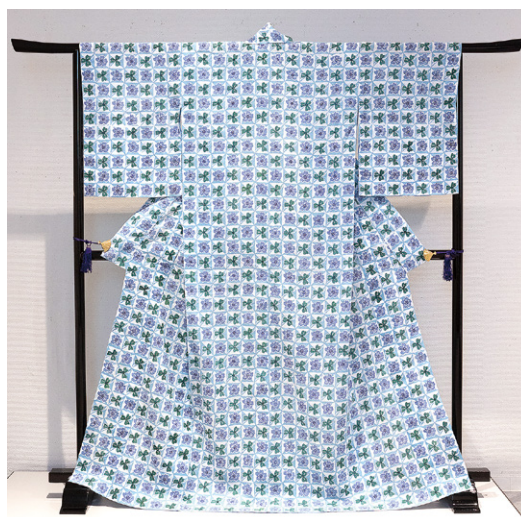
工芸
(染織)
招待作家作品



めざめのとき

稲葉 洋子

富士市厚原



カタバミ「あなたと共に」

桂田 貴子

富士市厚原



花野Ⅱ

加藤 節子

富士市中島

■ 入賞作品 ■



優秀賞

BOX

赤池 範子 富士市広見東本町

加飾部分は数種類の色化粧粘土を使い色面分割し、そこにわずかに揺らぎのある線刻を施し、幻想的でリズム感のあるとても美しい絵画的な世界観を生み出している。造形的には器の機能を持たせた事で、全体のバランスを少し崩してしまっているのも、そこを改善すればもっと良い作品になると思う。

■ 招待作家作品 ■

第1期

工芸(陶芸)
招待作家作品



萌黄釉大鉢

川崎 松風

富士市元町



青磁鶏頭文皿

深澤 和子

富士市中央町



七変化

森田 夢作師

富士市国久保

■ 入賞作品 ■



優秀賞

コーンウォール海岸の BoatHouse

山本 悦司 富士市石坂

全体的に色調をグレイッシュに抑え統一させる事で、立体作品でありながら一枚の絵画を観ている様な気持ちにさせる。細部にまで拘り作り込んでいる為、この船と建物がここまで使われて来た時間までをも感じさせる。作者がこの作品に施したエイジング表現は、この海岸の厳しく冷たい空気感を感じさせることに成功している。



奨励賞

ささやかな愉しみ

立田 衛由 富士市宮島

人や自然の痕跡と、時を刻んだ景色は様々な表情を生みだし、誰かの物語が想起されます。軽やかでリズムカルに展開された豊かなイメージが現れています。この空気感を活かした大きな作品も拝見したいです。



奨励賞

心弾む

田中 公美子 富士市南松野

今回会場の中でひととき色鮮やかで力強さを訴えかけて来た作品である。和紙の特徴を活かし立体的に積み重ね上げられた花々が、観る者の心を弾ませ、元気を与えてくれる。この地からパワーをもらい、とてもエネルギッシュに創作活動をされていて事が羨ましい。

招待作家作品



上弦の月

漆畑 勇司

富士市柳島

審査員紹介



星 美加

筑波大学 芸術系教員（助教）
一般社団法人二紀会 準会員

総評

本年の富士市展洋画部門では、独創性と技術力が光る7点の入賞作品が選ばれました。大賞作品「囁き」は初出品ながら、エアブラシの巧みな技法と大胆な構図で観る者を引き込みました。全体を通して、出品者の創造力と情熱が伝わり、洋画の多様な表現の可能性を再認識させられる機会となりました。出品者の皆様の努力と情熱に心から感謝するとともに、今後の更なる創作活動に期待しています。富士市展が今後も多くの才能ある作家たちの発表の場として機能し続けることを願っています。

総評

どこの展覧会、団体展、地方展なども出品者の減少が問題点となっています。今回の審査はいずれの作品も粒が揃っており、見劣りする作品は一点もありませんでした。それは出品者の方が枚数を重ねベテランになって来ているという意味でもあります。反面新しい事に挑戦している作品がなく、新鮮さの必要性も感じました。経験を重ねると新しい事が減っていくのは自然ですが、小さな変化でも構わないので挑戦して行ってほしいと思います。失敗しないように描くことよりも、失敗した時にどう立て直すかが重要で、自分の思った通りに描けない、という制御の難しさもまた日本画の魅力だと思います。



村岡 貴美男

日本美術院 同人
女子美術大学 特別招聘教授

■ 入賞作品 ■



大賞

囁き

kaossen 富士市森島

エアブラシで描かれた大胆な構図の作品です。口元と受話器、受話器を握る指の赤いマニキュアの赤が印象的で、エアブラシならではのコントラストの強い輪郭線とグラデーション、大きく切り取った構図で観る者を引き込む力がありました。

優秀賞

ニーチェを読んだ朔太郎

立田 衛由 富士市宮島

太い線で描かれた単純化された人物とモチーフが物語性を想起させ、紙や金属、羽根などの異素材のコラージュが、作者の遊び心を感じさせます。

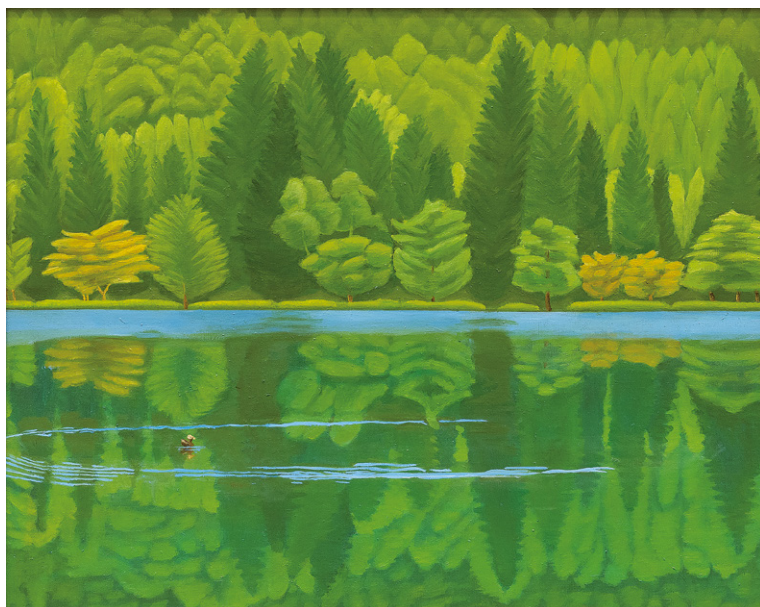


優秀賞

雨がこぼれる

丹野 眞由美 富士市宮下

油絵具の美しいマチエールと落ち着いた色調が魅力的な作品です。雨に濡れる紫陽花の情景でしょうか。しっとりと湿度が伝わってくるようです。



奨励賞

山湖静寂

小野 金二郎 富士市横割

東山魁夷風の緑色調で統一された静寂な作品です。背景の林が映る水面と、その波紋が画面に奥行きを与え、静かな美しさを醸し出しています。



奨励賞

刹那滅

木内 英文 富士市広見本町

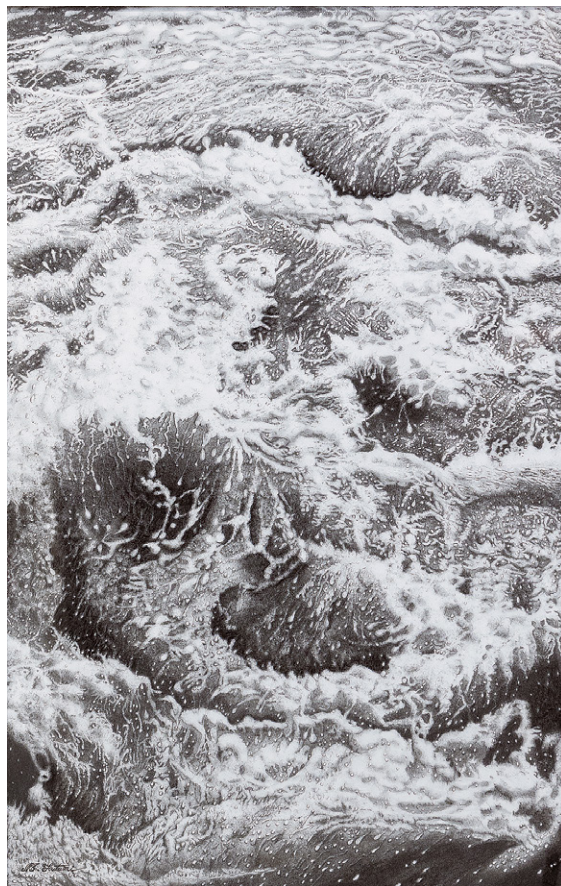
水面に映る花火を俯瞰して描いた大胆な構図と青と黄色の補色対比が魅力的です。中央の飛ぶ鳥も印象的です。水面の波紋があっても良かったかもしれません。

奨励賞

濁流

二見 六男 富士市宮島

白黒のモノクロームで荒々しい波飛沫を表現した挑戦的な作品です。流動的な水を鉛筆と木炭で見事に描き、濁流の一部分を切り取る構図が感動的でした。



奨励賞

木洩れ陽

水谷 美幸 富士宮市大中里

愛犬を木漏れ日の中で描いた作品でしょうか。どっしり座る犬の迫力が伝わり、絵具の弾きやラメ素材の使用が毛並みの表現に効果的です。構図に一工夫加えるとさらに魅力的になるのではと思います。

招待作家作品



或る風景
石島 章彦
富士市今泉



と或る情景Ⅲ
今岡 幸男
富士市中丸



卓上静物
木下 恵美子
富士市富士見台



希望の光
窪田 千寛
富士市原田



ももの花咲く頃
小林 一裕
富士市桑崎



坂下での共存
齋藤 立己
富士市横割

第2期

絵
画（洋画）
招待作家作品



セルネーの森

鈴木 喬子

富士市元町



はな便り

田邊 和正

富士市伝法



深遠

古郡 敦

富士市伝法

第2期

絵
画
(洋画)
招待作家作品



室内風景
村上 雅洋
富士市久沢



バスターミナル
山口 喜玉
富士市石坂



風景
山田 孝之
富士市国久保

第2期

絵画(洋画)
招待作家作品

■ 入賞作品 ■



大賞

はるかな想い

甲田 幸子 富士市柚木

一般的に、技術が伴ってくると写真のような絵が増えていく傾向がありますが、今回の出品作の中で一番作者の独自の表現を感じました。

三次元的ではない透視図法や極端な遠近法、主観的な水芭蕉の表現など、非常にユニークだと思いました。また、遠景の山や空には実感があり、隠れた主役のようにこの画面を魅力的に見せています。

優秀賞

恵み

時田 喜代江 富士市宮島

確かな技術があり、丁寧に描かれた完成度のある作品です。植物を題材に何枚も描いて来られたのか、ベテランの風格もあります。しかし、単に表現が細かいだけではなく、植物に対する愛情も感じられます。無機的、即物的にならずに描かれており、緑の色幅が美しく感じられました。落ち着いた色調が魅力ですが、空間や色の対比など、画面の抜けが加わるとさらに良いと思います。



奨励賞

八幡平ドラゴンアイ

前嶋 慎一 富士市天間

面白い題材を見つける事は画き手にとって非常に重要です。まずこの作者は、視覚的にもインパクトのあるとても良い場所を選んだと思います。加えて、雪の白と水の青の対比が明快で、画面を強固な物にしています。しかし、この画面だからこそ出品可能な最大寸法で描けば更に印象の強い作品になったでしょう。空はもう2センチくらい減らせば更に緊張感ある画面になると思います。



■ 招待作家作品 ■



遠い目

浅野 緑

富士市錦町



待春

大村 信子

富士宮市星山



秋

大屋 初江

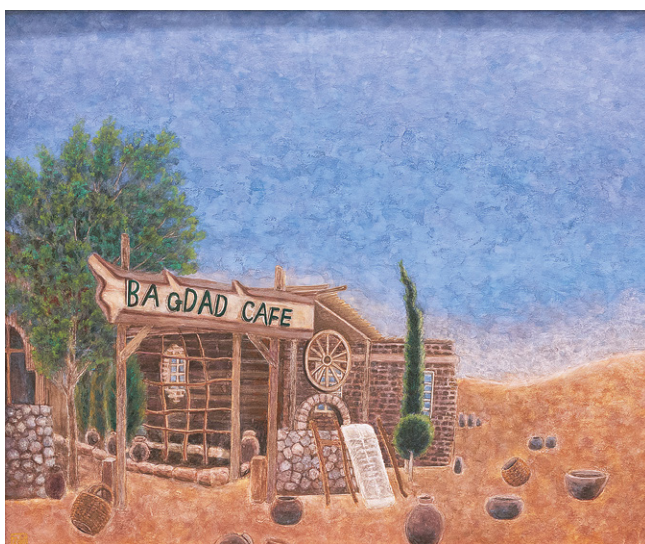
富士市中野



緑映
小林 重夫
富士市岩本



卓上
設楽 あさ子
富士市石坂



バクダッド カフェ
小林 スミ代
富士市中野

第2期

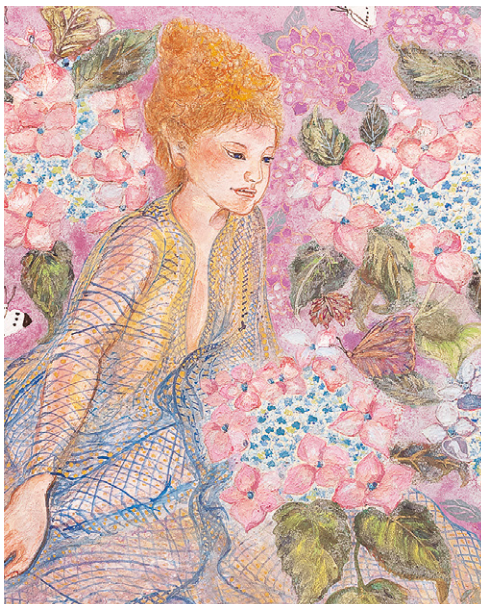
絵
画（日本画）
招待作家作品



導灯

田中 せつ子

富士市宮島



花の精

渡辺 勝子

富士市蓼原

本年度の富士市展では、パソコンやタブレット・スマホなどでアート作品を制作している方を対象として「デジタルアートの部」を新設しました。今回は試行として実施し、39点の応募がありました。

星 美加

総評

今回新設されたデジタルアート部門には、多くの若い世代からの応募作品が集まり、今後の発展が期待されます。3DCG やフォトリアルな表現、イラスト的、絵画的表現など、幅広いジャンルと年齢層の作品が見受けられました。これからさらに多様な表現が登場し、デジタルアートの新たな可能性が広がることを期待しています。出品者の皆様の創造力と技術力に感謝し、今後の活躍を楽しみにしています。

村岡 貴美男

総評

主催者側も出品者側もまだ手探りな状態で、今後検討する点は幾つかありますが、若い出品者が増えた事はとても良い事だと思いました。これは展覧会の数稼ぎ的な意味ではなく、ジャンルは違っても絵を描く事に興味を持つ人が若い世代にもしっかりと居る事が実感出来た点が良かったです。

私たちの世代が想像も出来ないような面白い物が出て来る事を楽しみにしています。

第2期

デジタルアート



審査員紹介



高木 聖雨

日本芸術院 会員
日展 理事
大東文化大学 名誉教授

総評

日本の書道がユネスコ無形文化財に登録されるよう政府より提案され、令和八年度登録の可能性大である。書の歴史を保存、継承、そして発展させる使命を与えられる。富士市の書の伝統は五十八回を迎え、通覧してみて、伝統、発展を尊重し、更に新らたな表現を加味し、古典の香のする作品、現代性を表出した作品、多士済々見応えのある審査となった。

総評

日本の美の象徴、富士山を目の前に審査会場へ向かいました。美しい市の環境の中で皆様の書作品力作を拝見できて光栄です。

作品は全体的に線の抑揚があり、リズムと調和による存在感の強い作と感じ取れました。一文字作品は迫力がある作もありましたが、線質と造型にあと一工夫必要かと思います。次回に期待しています。書作を楽しみながら質の高い作品を目指していただきたいです。

詩文書、調和体は、良作ですが、線條による美と文字造型により、確かな余白を生み出して頂きたい事と、墨色、墨の潤渇の変化、疎と密などを入れ込んで、更なる深みの作品となるよう期待します。仮名作品は、凝縮性と細線の強さで迫力がありました。硬筆は、美しい作品が多く、余白の美しさもありましたが、細線に加えて太線部分にも挑戦して頂けると、更なる進化が望まれます。

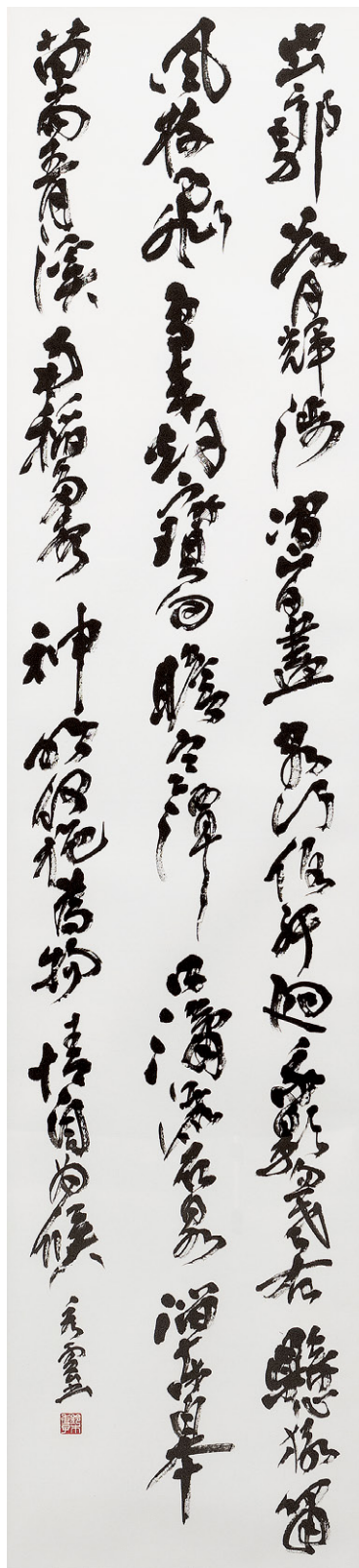
富士市展の益々の躍進と発展を願っています。



渡邊 麗

誠心社 会長
産経国際書会 理事長代行
杉並書道人協会 理事

入賞作品



大賞

由臨川北道抵餘千山行五首

鈴木 秀雲 富士市伝法

一点一画氣が抜けた線がなく、しかも明るい作品に仕上げられた作品。表現方法に文字の大小、広狭を主に取り入れ、適度なデフォルメでユニークさ、新味を表出した作品、中国清朝あたり、特に呉昌碩の香を感じさせる。

優秀賞

王維詩

鈴木 桂華 富士市中里

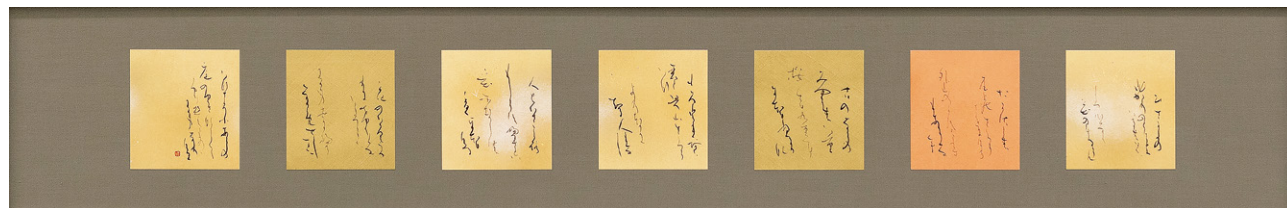
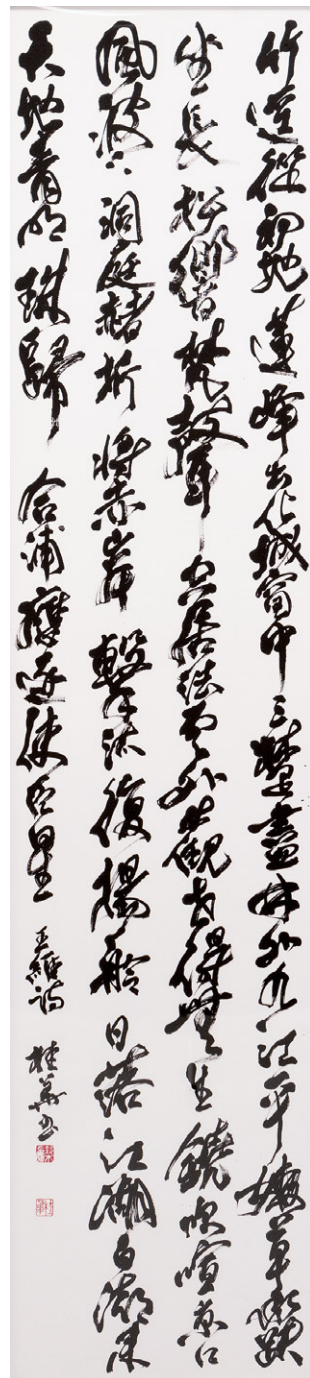
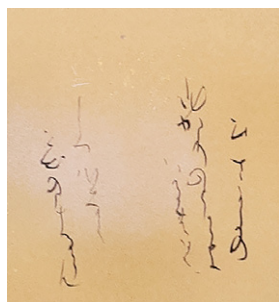
豊潤な線質で縦に流れるような運筆は見事である。それに清朝末期の呉昌碩を参酌させ、更に文字の大小だけで立体感を出す技術は熟練を想像させられる。書の命は線である。今後もこの方法で極めてください。

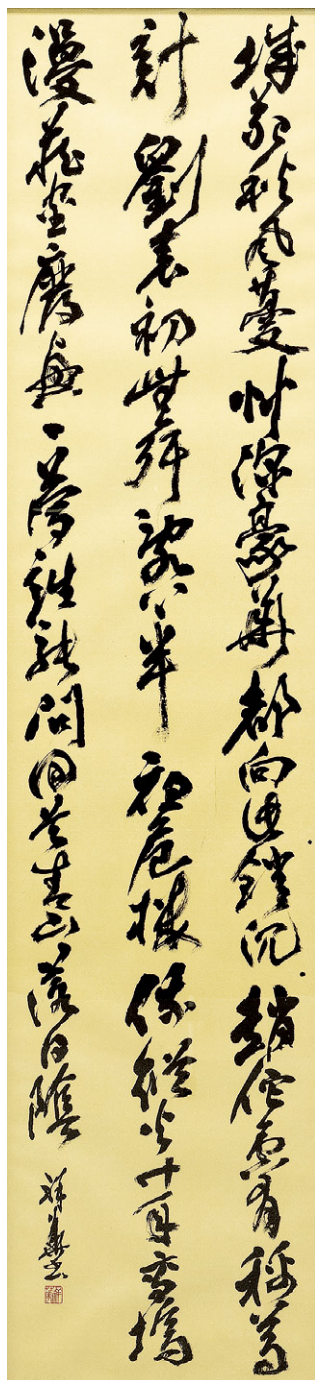
優秀賞

花（百人一首より）

眞鍋 淳子 富士市米之宮町

リズムと流れの中で書き出しと終行の呼応が美しい線が互いに呼び合い、たおやかな空間を生み出している。太細の線の変化も良く、構成の妙に加わり、独自性、独創力のある作品。



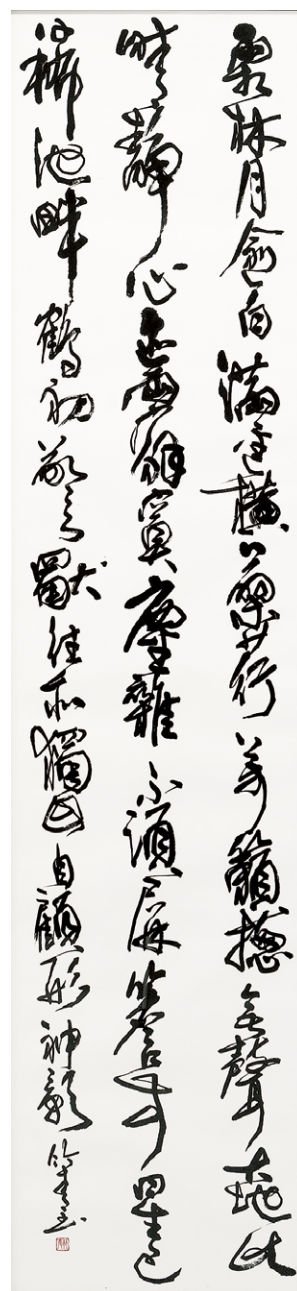


優秀賞

吳城感舊

渡邊 祥華 富士市久沢

結体良く、筆勢を抑えながらも力のこもった書きぶりです。筆脈を大事に、筆力もあり見応え充分な動感豊かな作品。



奨励賞

静夜吟

伊藤 竹青 富士市伝法

明末清初の巨人 王鐸をイメージして書いたであろう見事な作品です。縦長の字、懐の広い字、表現出来る限界までを示した。古典の香り豊かな雰囲気醸し出しています。



奨励賞

太陽出現

岩瀬 瑞琴 富士市日乃出町

「太陽出現」のタイトルそのままに、燃える思いを筆に託して、表現されている。漢字に力のある人なので、仮名もその勢いで迷いなく書いている。各文字の結体、起筆と終筆の強さにも注目した作品。

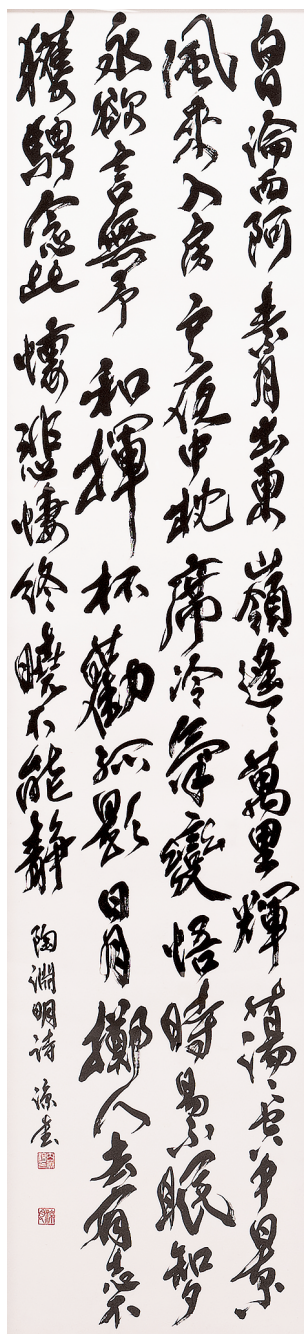


奨励賞

禽困覆車

清 俊玲 富士市厚原

篆刻の出品数二点で少し寂しさを感じたが、その内の一点大印を四顆刻されたが、いずれは刀法鋭く、字形も崩れなく、相当な刻者とみる。朱白印共に余白の取り方も見事で、方寸の世界の中に立体感を見事に表現している。

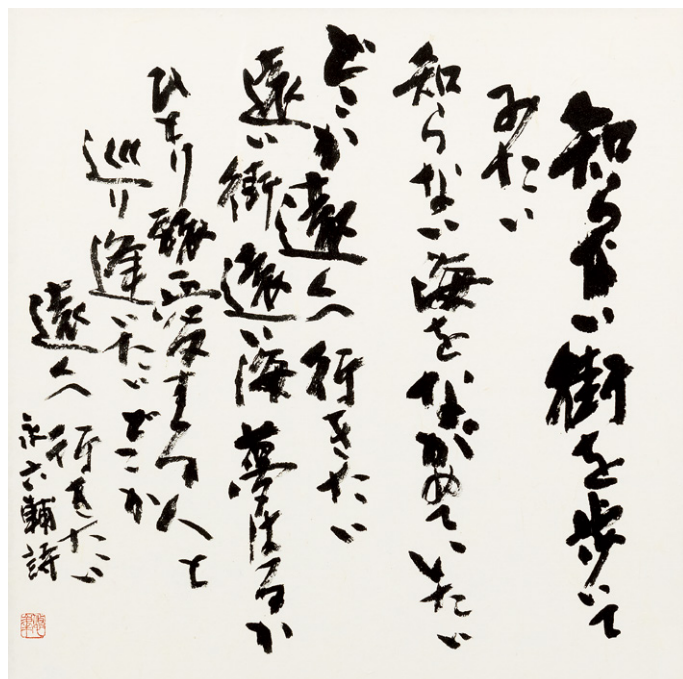


奨励賞

陶淵明詩

内藤 涼 富士市依田橋町

筆鋒鋭く重量感のある筆致で良い。線条リズム感と疎密に迫力があるので、余白の美が光る作品、伸びやかな流れの中にも左右の振幅の妙を更に極めて頂きたい。



奨励賞

遠くへ行きたい

三田 悠峰 富士市富士見台

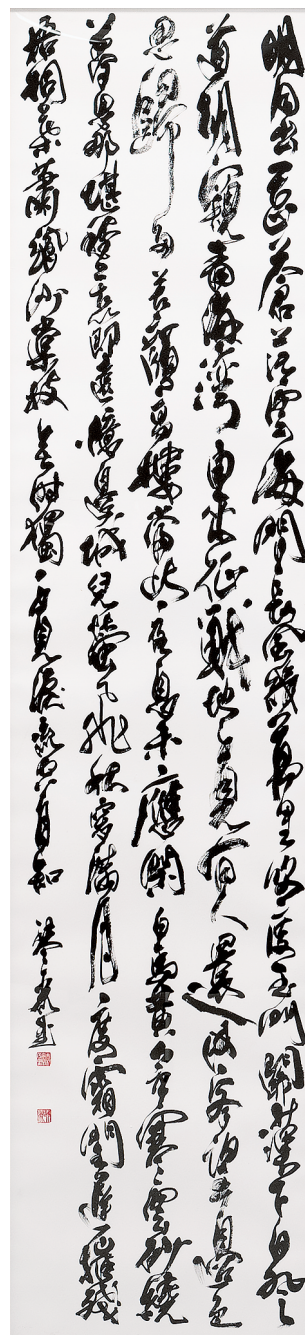
誰もが知っている歌を書で表現して大賛成です。書き出し墨量多く入り、歌のリズムに合わせて軽みも入れて終行へと向かう。リズムと流れ、調和のとれた作品。

奨励賞

李白詩

吉村 琴麗 富士市比奈

処処に大字を見事に配置し、人の眼を惹きつけてくれる。観者は楽しく見ることが出来る作品である。書はこうあるべきものではと思わせる。線も豊かで、暢びやかで、更に徐渭あたりの書が垣間見る事が出来る。古典の香り満載である。

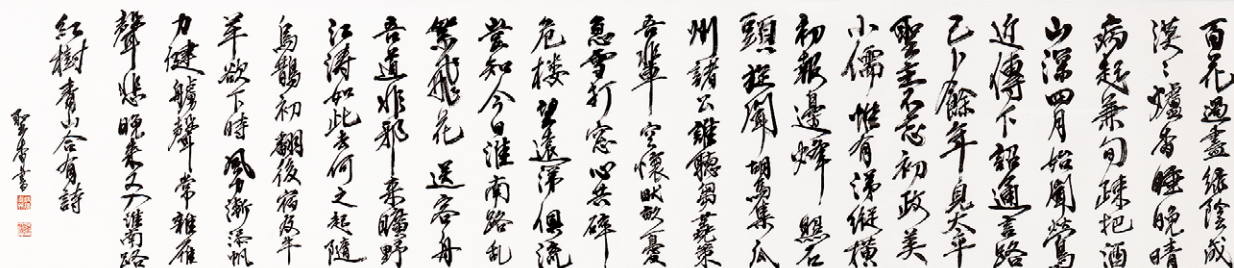


奨励賞

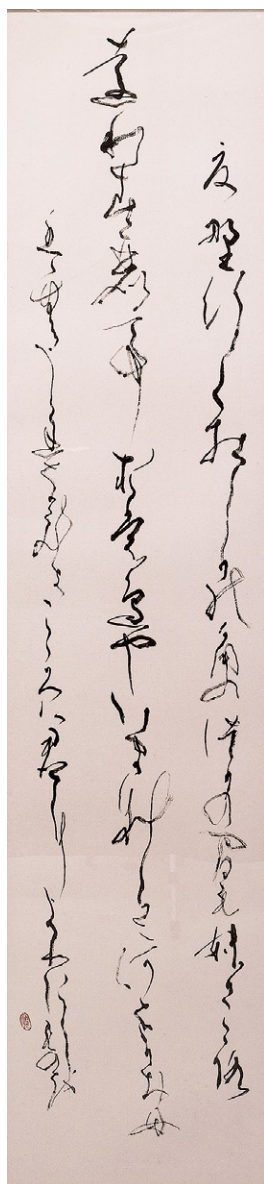
陆游詩

渡邊 聖香 富士市今泉

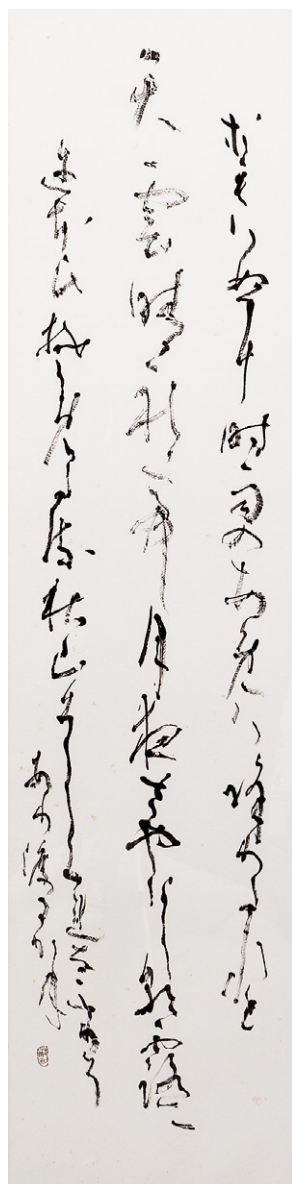
横展開での制作は難しいが、この作は行間を完璧に統一させ、更に一行の中に広狭をしっかりと参酌させ、一本調子にならないよう良く工夫されている。これに柔らかい、ソフトな線が入るとより良い作品になるかと。



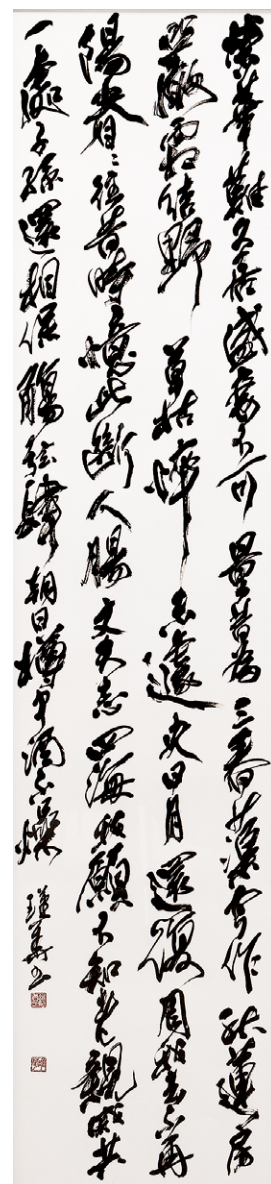
招待作家作品



万葉歌二首
石川 きよみ
富士市松岡



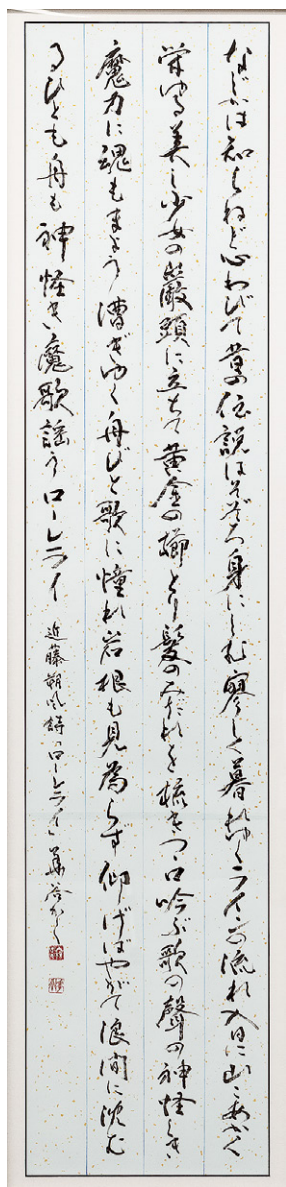
万葉歌
岩渕 わか子
富士市松岡



陶淵明詩
大野 瑾華
富士市西柏原新田

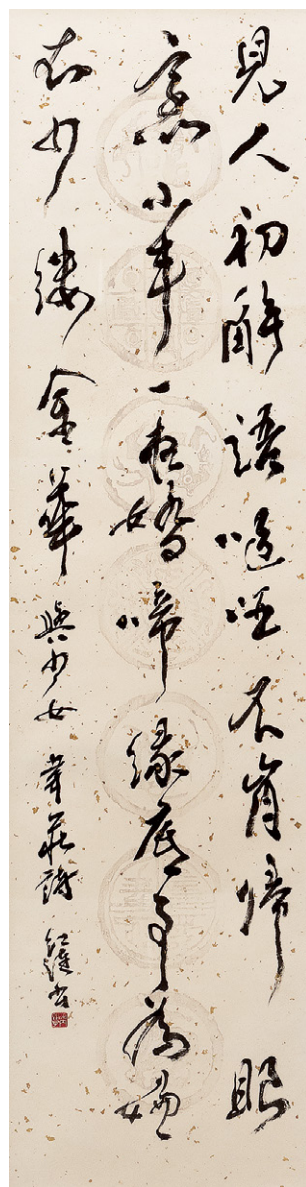
第3期

書道(毛筆)
招待作家作品



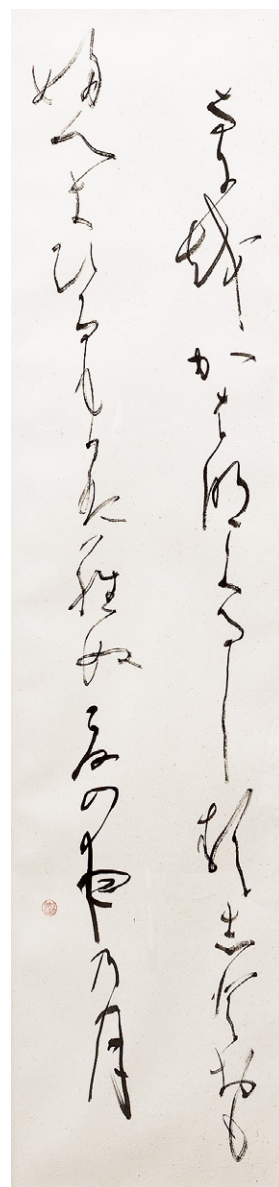
近藤朔風詩「ローレライ」

大村 華谷
富士市厚原



與少女（少女に与う）

河内 紅漣
富士市加島町



なにをかは

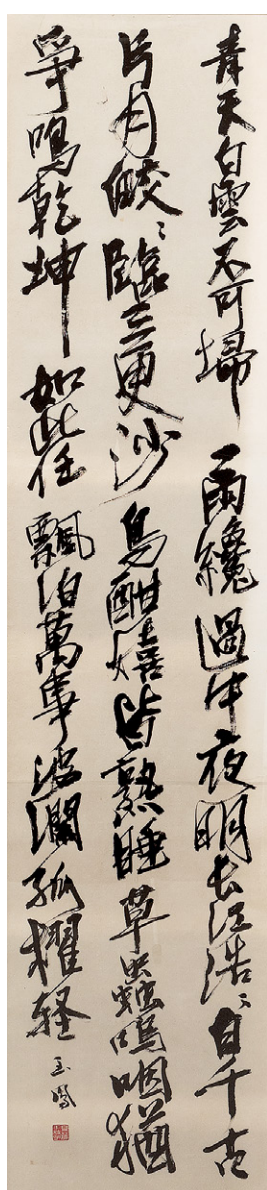
久野 流水
富士市宮島



自詠歌

久保田 花鵬

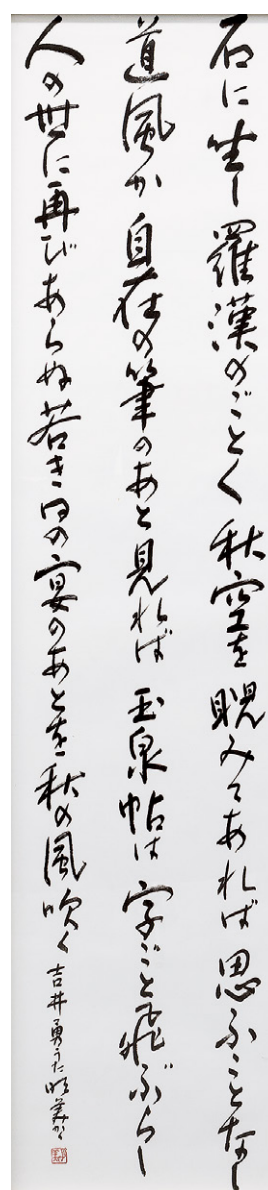
富士市松岡



漢詩

齋藤 玉鳳

富士市森島



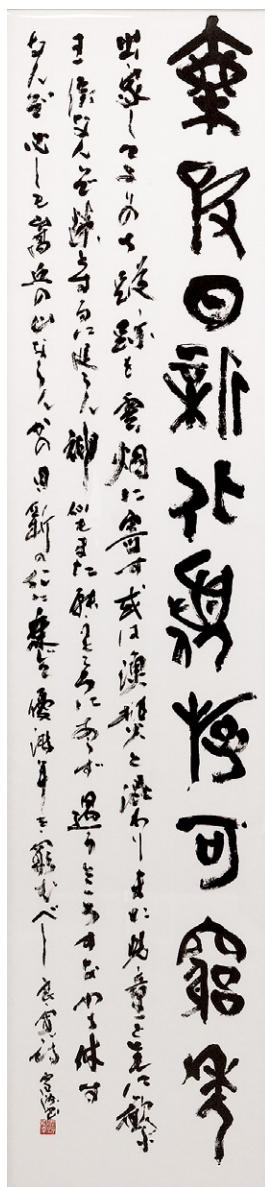
吉井勇の歌

佐野 明美

富士市水戸島



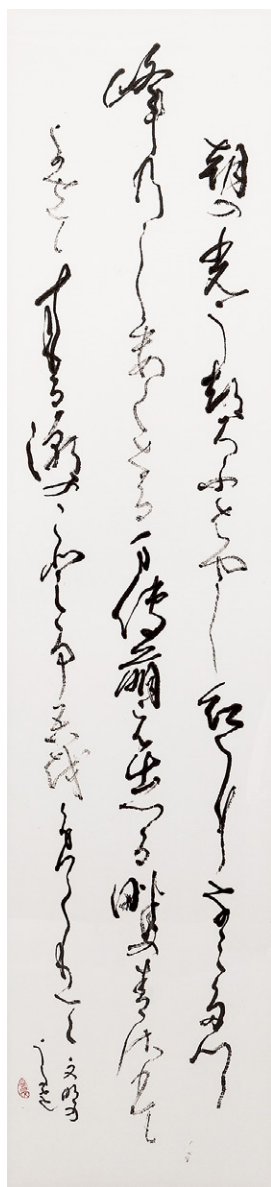
臨淵羨魚不如退而結網
(漢書)
佐野 清香
富士市中丸



良寛詩
佐野 雪洲
富士市久沢



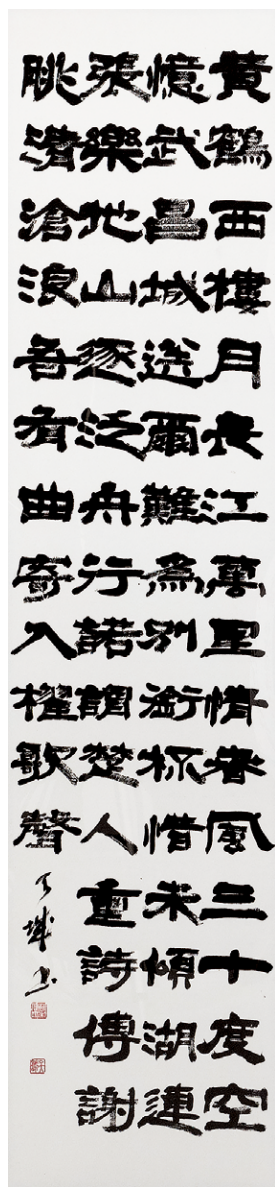
吳錫麒詩
鈴木 錦苑
富士市瓜島町



土屋文明の歌二首

鈴木 春翠

富士市厚原



李白詩

鈴木 天城

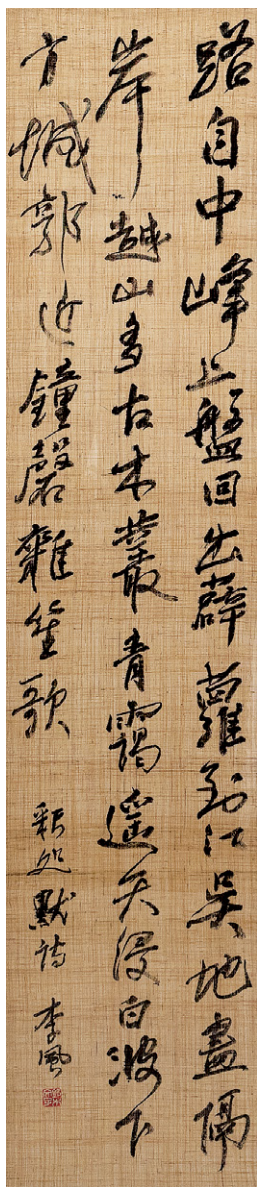
富士市厚原



杜少陵詩

鈴木 鳳苑

富士市石坂



釈処默詩

鈴木 李風

富士市大淵



稲妻

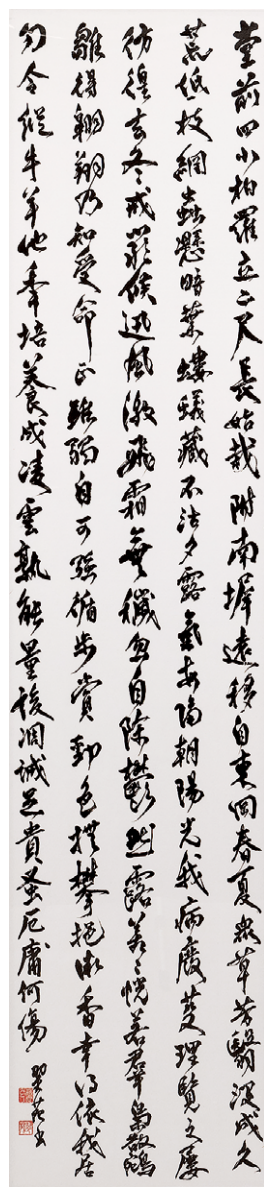
時政 莊子

富士市富士見台



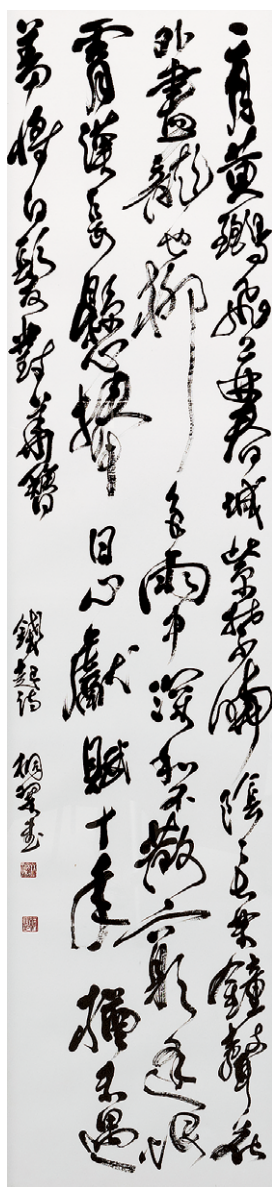
寶鞏詩

三ッ岡 瑾流
富士市西柏原新田



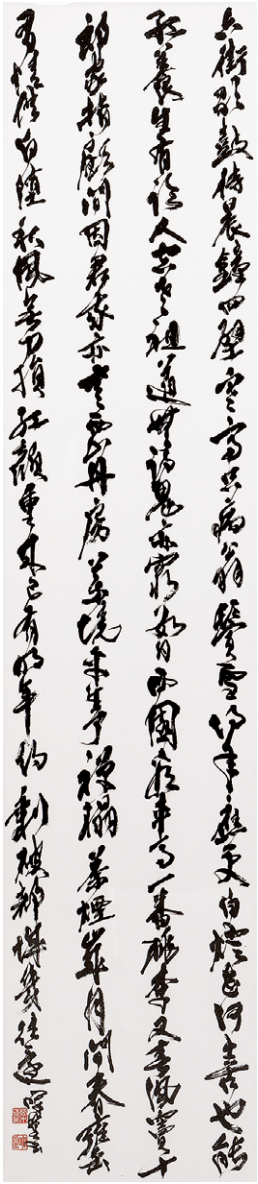
高青邱詩

藤田 翠苑
富士市御幸町



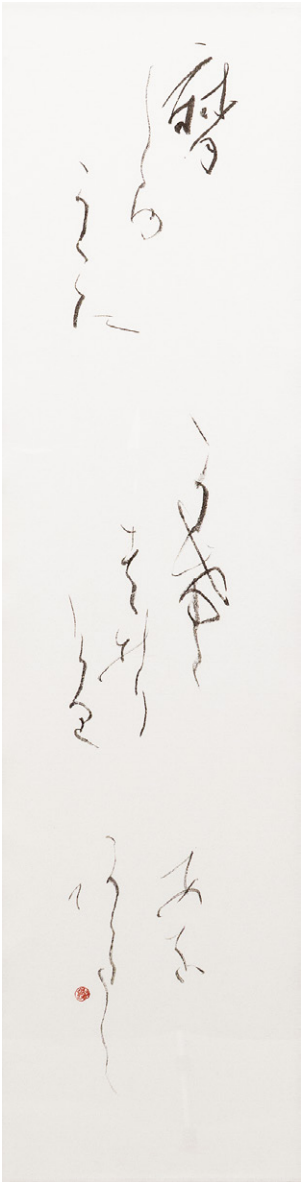
錢起詩

林 桐翠
富士市緑町



元好問の詩

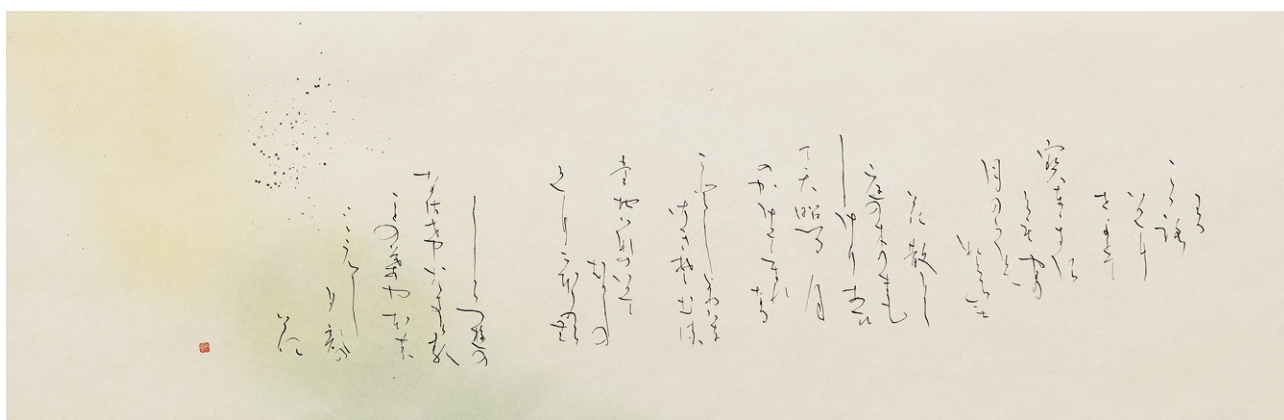
宮本 暉篁
富士市青島町



緑生の句

室伏 華琉
富士市久沢

■ 入賞作品 ■

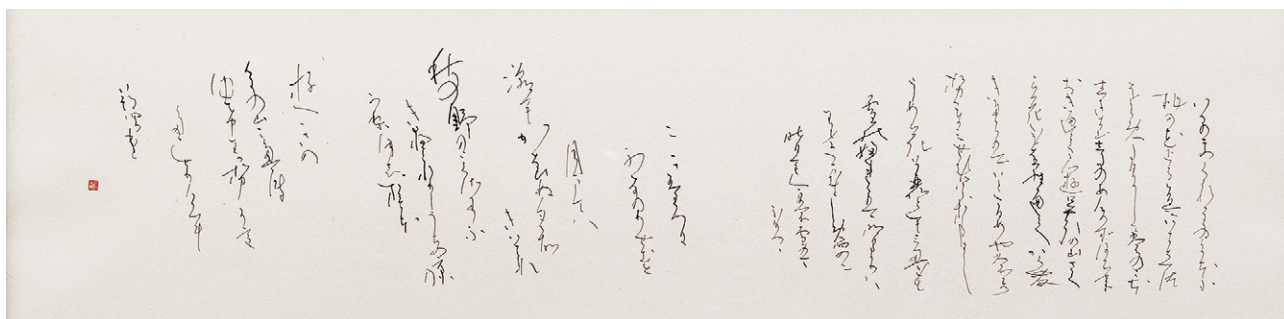


大賞

わが心

和泉 螢嶺 富士市松本

連綿の対峙美しく、揺らぎながらも完結した作品で、伸びやかな心の流れを感じる作。一本の線の中にリズム呼吸を秘めている点と余白のたおやかさは抜群の作品。

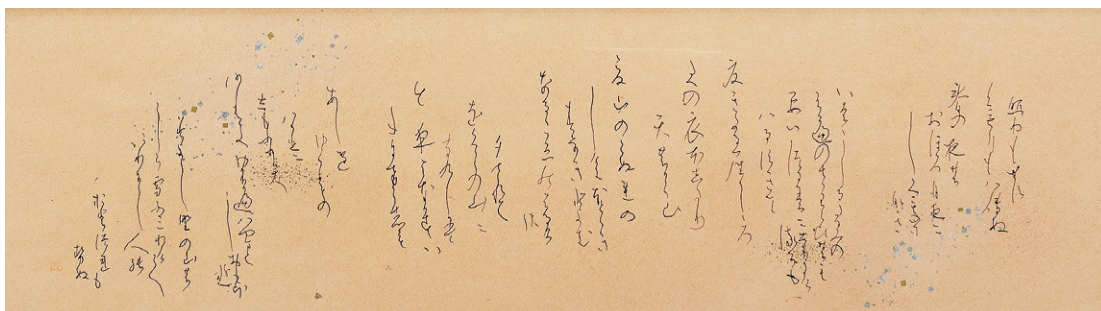


優秀賞

春の香り 秋の野（万葉集より）

植松 永香 富士市中野

大胆でありながら繊細な書きぶり筆致で良い。呼吸のリズムに乗って表現されている。太線も効果的だが、更に、各文字の左右へのふり幅を抑えながらも、縦へと流れる行の美しさを加えることに期待。

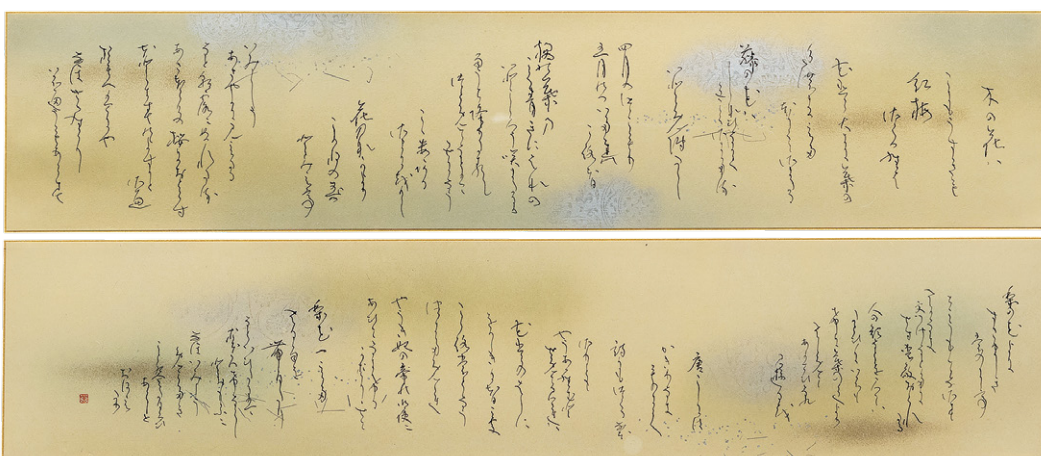


奨励賞

和歌

戊 松苑 富士市富士見台

散らし書き美しく良く書き込まれている作。要所、呼吸が途切れぬよう一貫して統一するとともに良作となる。筆力、筆脈のある表現なので今後更に期待する。



奨励賞

枕草子 木の花は

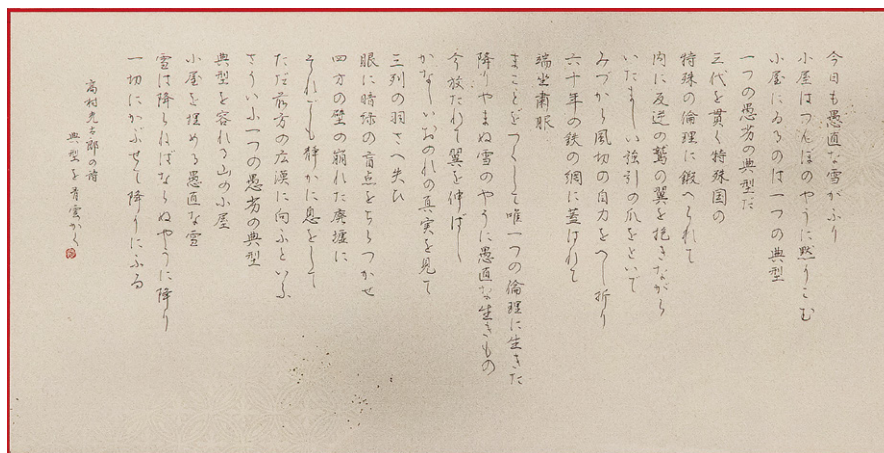
影嶋 岳陽 富士市石坂

精緻な中にも大胆な線の動きがあり、見応え充分な作品。全体構成も充実しているが、文字数が少々多すぎて、密の感、余白、空気感も更に加えて書かれると秀逸な作となり、感動を呼ぶと思う。

第3期

書道(硬筆)
入賞作品

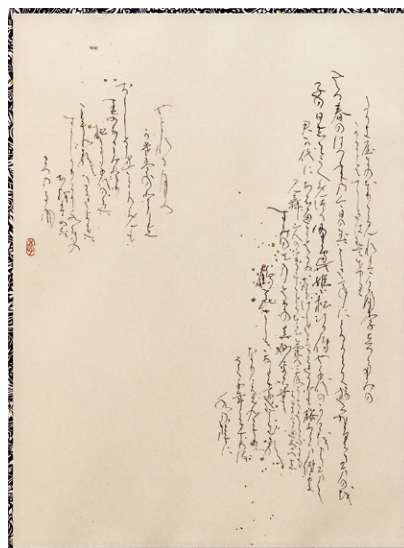
招待作家作品



高村光太郎の詩

後藤 青雲

富士市原田



賀

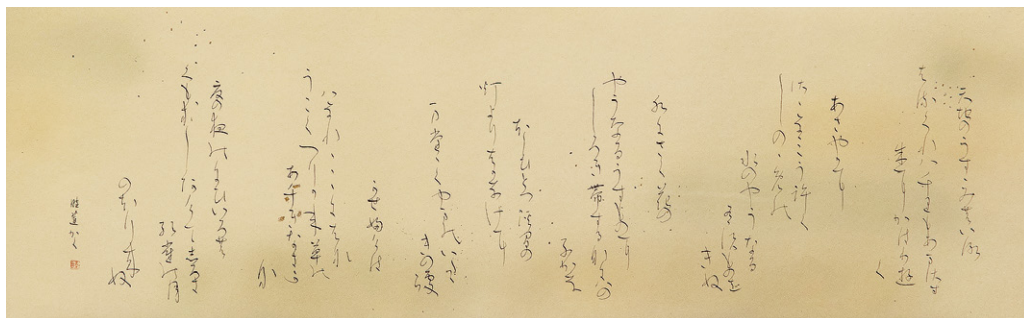
清 俊玲

富士市厚原

第3期

書道(硬筆)

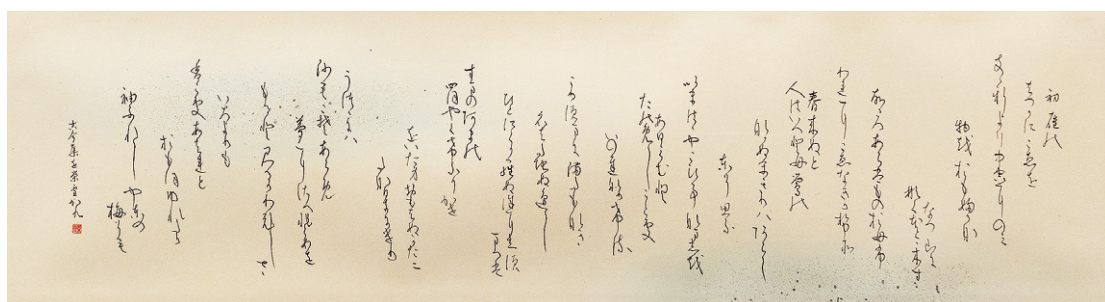
招待作家作品



与謝野晶子のうた

土屋 睦蓮

富士市一色



初雁の

渡邊 栄雪

富士市久沢

第3期

書道(硬筆)
招待作家作品

写真・工芸・彫刻

写真 入賞者

P3~8

大賞

湯川 正一 振り返った Ayu 富士市中島

優秀賞

加藤 年一 夕照 富士市天間

鎌野 信義 凜として 富士市今泉

横山 茂 妖艶なる宴 富士市石坂

奨励賞

井上 沙登子 晩秋の溪谷 富士市中里

大竹 康江 なきずもう 富士市松岡

加藤 供子 おいさー、吹雪舞う 富士市宮島

後藤 尚 ハッピー ニューイヤー 富士市神谷

小林 斐子 春到来 富士市大淵

野口 勝子 気嵐 富士市西柏原新田

山崎 光夫 キメラ・メン&初日 富士市森島

写真 入選者

青葉 光正 紅葉 富士市松岡

赤池 正裕 寒き朝の光 富士市広見東本町

赤堀 末夫 泣き相撲 富士市久沢

飯島 剛 羊飼いの 富士市天間

飯塚 則人 日輪に入る 富士市厚原

池上 禎治 落花流水 富士市神戸

浦田 和代 躍動の笑顔 富士市今泉

遠藤 精次 金色の夜明け 富士市松岡

小川 勝己 ファミリー 富士市蓼原

萩田 長蔵 幸せの瞬間 富士市大淵

萩野 守 花曇り 富士市原田

小澤 治 人工衛星の軌道交差点 富士市吉原

小澤 茂行 桜の花の蜜を吸うヒヨドリ 富士市松本

加藤 直子 大好きな時間 富士市厚原

金刺 勝久 清流に降り注ぐ 富士市蓼原町

川口 廣男 まなごし 富士市久沢

川口 盈明 母の教え 富士市宮島

吉良 慶二 幽玄な世界 富士市さんどまき

久保田 貢 春の川 富士市鶴無ヶ淵

久保田 幸夫 グリーン グリーン 富士市北松野

小林 光義 跡 富士市大淵

小松 恵 とおり雨 富士市川成島

斎藤 勝則 絶景を楽しむ 富士市宮下

佐野 勝英 秋景富士 富士市岩本

佐野 哲芳 草原の朝 富士市天間

佐野 淑昭 向日葵 富士市厚原

佐野 好孝 ラストステージ 富士市檜新田

杉山 幸次 爆風 富士市森島

鈴木 明子 木守柿群る 富士市水戸島

鈴木 政美 束の間の遭遇 富士市石井

高橋 正雄

燃ゆる富士

富士市中里

高橋 満雄

ボク、ボランティアです。案内します。

富士市三ツ沢

立石 比呂志

春、母娘輝いて

富士市国久保

中田 千敏

煌めく夜梅

富士市宮下

長津 勝恵

afternoon

富士市富士見台

長津 竹雄

春爛漫

富士市富士見台

中野 進

曲芸

富士市中里

仁藤 博康

ファイヤー

富士市中里

仁藤 政孝

朝靄晴れて、桜と競演

富士市富士見台

丹羽 信男

或日の富士の夕景

富士市厚原

秦野 明弘

奥庭夕景

富士市中之郷

花崎 敏行

ゲット！ゲット！

富士市伝法

平井 敬子

春の田貫湖

富士市厚原

藤田 理行

捕まえたぞ！

富士市岩本

保科 登

天空の春

富士市松岡

保科 翠

春を撮る

富士市松岡

松山 正勝

あそぼうよ～

富士市水戸島

三神 壽明

イルミネーション

富士市厚原

村瀬 富男

婆さんや今年も豊作だぞ

富士市国久保

望月 洋司

幽玄

富士市岩本

安田 浩美

願い

富士市蓼原

山川 一郎

See you again

富士市伝法

山崎 克美

笑顔でよきこい

富士市今泉

山崎 友一

あ！コケタ

富士市中里

山本 妙子

歓喜

富士市中里

山本 安昌

僕のバイクいいだろ～

富士市緑町

横山 博

躍動

富士市石坂

米倉 政明

急流を一時留めて逆さ富士

富士市宮下

渡邊 恭章

桜花富士山を飾る

富士市厚原

染 織 入賞者

P11~12

大賞

石川 三幸 やかん12態 富士市大淵

奨励賞

福西 真由美 アイヌに魅せられて 富士市中島

染 織 入選者

黒田 桂子 半夏生 富士市大淵

小林 貴美子 つばめ水仙 富士宮市北山

笹倉 記世子 祈り 富士宮市神田川町

志田 仁美 おばあちゃんからもかへ 富士市松岡

鈴木 孝代 マルのメロディー 富士市富士岡

萩原 良子 おもいで 沼津市町方町

橋戸 律子 祈り 富士市石坂

平松 雅子 リリーズ 富士市大淵

深澤 和江 初春の彩り 富士市伝法

入賞者・入選者 一覧

(50音順)

陶 芸 入賞者 P 14

優秀賞

赤池 範子 B O X 富士市広見東本町

陶 芸 入選者

石橋 貴子 木蘭角花瓶 富士市森島
後藤 艶子 角平鉢 富士市下横割
高野 貴巳子 山河の静 富士市宮市小泉
田村 倫子 灰釉角花瓶 富士市本市場
根上 愛実 平和の目覚め 富士市中丸
望月 教子 回帰 富士市松岡
望月 寿枝 丸・線文壺 富士市鮫島

工芸総合 入賞者 P 16～17

優秀賞

山本 悦司 コーンウォール海岸の BoatHouse 富士市石坂

奨励賞

立田 衛由 ささやかな愉しみ 富士市宮島
田中 公美子 心弾む 富士市南松野

工芸総合 入選者

石川 やよい ひがんばな 富士市久沢
大竹 たか江 森林限界 富士市川成島
杉山 泰子 和紙－楮を編む 富士市今泉
堤 恵 アドベントカレンダーハウス 富士市日乃出町

彫 刻 入選者

加賀美 光春 さくら さくら 富士市厚原
鈴木 真人 いい湯だな！ 富士市伝法
立田 衛由 産土の風 富士市宮島
山田 直慶 一歩 富士市富士見台

絵 画

洋 画 入賞者 P 20～23

大 賞

Kaossen 囁き 富士市森島

優秀賞

立田 衛由 ニーチェを読んだ朔太郎 富士市宮島
丹野 真由美 雨がこぼれる 富士市宮下

奨励賞

小野 金二郎 山湖静寂 富士市横割
木内 英文 刹那滅 富士市広見本町
二見 六男 濁流 富士市宮島
水谷 美幸 木洩れ陽 富士市宮市中里

洋 画 入選者

石川 清治 奇岩と樹木 富士市中丸
石川 邦彦 ざわめく夕焼け 富士市松岡
井出 光代 銀杏 富士市伝法
伊藤 陽 桃介橋 富士市横割

伊藤 克博 Sterile Room Window View 無菌室の窓辺にて 富士市大淵
伊東 邦子 夏に咲く 富士市宮下
伊藤 由美 朝焼けの富士山 富士市森下
今岡 詩帆 星屑の旅 富士市横割
内海 陽一 赤いコートの人 富士市伝法
遠藤 光司 サグラダファミリア 富士市鈴川中町
大倉 正次 早春の朝 富士市中野台
太田 茜 朝散歩 富士市伝法
小野 行雄 岩手山を望む街 富士市原田
岸本 裕方 田貫湖 富士市中野台
斉藤 はる美 カーネーション 2024 富士市水戸島
鈴木 美世子 願い 富士市中野
清 尚子 爽 富士市厚原
瀬良 満 わが街をはしる岳南電車 富士市石坂
中司 博明 山寺山門 富士市松岡
本田 孝平 カトマンズの少女 富士市荒田島町
松田 ゆかり 丹頂のサンクチュアリ 富士市南松野
丸田 正治 岩本山、梅園 富士市五貫島
望月 保宏 古墳 富士市広見本町
望月 好男 白き富士・白き山桜 富士市南松野
山川 一郎 See you again 富士市伝法
山田 直慶 五月の里 富士市富士見台
吉野 明日香 六月十六日 富士市天間
渡辺 立志 愛鷹山の雲影 富士市川尻

日本画 入賞者 P 28～29

大 賞

甲田 幸子 はるかな想い 富士市柚木

優秀賞

時田 喜代江 恵み 富士市宮島

奨励賞

前嶋 慎一 八幡平ドラゴンアイ 富士市天間

日本画 入選者

飯田 幸江 大樹 富士市水戸島
井上 育美 川越氷川神社 富士市今泉
宇治野 駿一 外は雨 富士市今泉
遠藤 幸子 向日葵 富士市伝法
太田 素雅 戦下の花 富士市錦町
勝又 美幸 苔埋む火口 富士市中野
木村 和代 姥百合 富士市永田町
佐野 洋子 浅春の田貫湖 富士市松岡
鈴木 紀久子 森閑 富士市大淵
高木 薫 生 富士市南松野
渡邊 ひで子 華纏う沢 富士市蓼原町

入賞者・入選者 一覧

書 道

毛 筆 入賞者 P 35～40

大 賞

鈴木 秀雲 由臨川北道抵餘千山行五首 富士市伝法

優秀賞

鈴木 桂華 王維詩 富士市中里

眞鍋 淳子 花（百人一首より） 富士市米之宮町

渡邊 祥華 呉城感舊 富士市久沢

奨励賞

伊藤 竹青 静夜吟 富士市伝法

岩瀬 瑞琴 太陽出現 富士市日乃出町

清 俊玲 禽困覆車 富士市厚原

内藤 涼 陶淵明詩 富士市依田橋町

三田 悠峰 遠くへ行きたい 富士市富士見台

吉村 琴麗 李白詩 富士市比奈

渡邊 聖香 陸游詩 富士市今泉

毛 筆 入選者

赤池 三紀 岑参詩 富士市大淵

赤堀 秀峰 杜甫詩 富士宮市西小泉町

秋山 士仙 春日野に 富士市一色

有永 湖風 李白詩 富士市久沢

五十嵐 香葉 高青邱詩 富士市大淵

井川 悠香 龍池篇 富士市久沢

池末 暁華 百人一首より 富士市中野台

石川 光苑 梁紹輝詩 富士市本市場

稲岡 千史 竹筆 富士市伝法

植野 敦子 華 富士市中里

内田 千映 陸游詩 富士市国久保

遠藤 柳川 高青邱詩 富士市天間

大塚 寛美 高青邱詩 富士市大淵

小澤 秀穂 秋日湖上 富士市今泉

加賀美 光春 ほけずに ながいき 富士市厚原

勝又 碧翠 道程 富士市中野

勝亦 蘭汀 呉蘭雪詩 富士市神戸

金澤 柳華 李頎詩（送魏萬三京） 富士市富士見台

金子 聖華 新古今和歌集より五首 富士市厚原

北川 美翠 寒山の詩 富士市厚原

小林 尚葉 天空翔ける 富士市中島

小松 恵仙 性静者多寿考 富士市川成島

齋藤 丹秋 秋の祈 富士市久沢

斉藤 玲月 王漁洋詩 富士市大淵

齋藤 嶺風 江間章子詩 富士宮市小泉

佐野 瑞祥 花に風 富士市宮下

芝田 雪柳 朱鳥句 富士市青葉町

鈴木 香蘭 東飛伯勞歌 富士市前田

鈴木 静琉 春江送別 富士市境

諏訪部 悠華 李賀詩 富士市中里

清 玉華	峴山懷古	富士市横割
清野 かつ江	王庭珪誌 二月二日出郊	富士市富士見台
高田 求華	杜少陵詩	富士市中里
田口 量三	陶淵明詩	富士市原田
田中 瑞芳	恒夫の歌	富士市松岡
竹明哥	竹筆作品	富士市岩本
坪井 綾華	俳句 秋桜子	富士市一色
鳥居 己至夫	万葉歌	富士市岩本
橋本 翠揚	李白詩	富士市松岡
美竹	竹筆作品	富士市岩本
平田 游希	晶子歌	富士市本市場
福井 禧仰	漢詩	富士市加島町
福井 紫雀	漢詩	富士市加島町
北條 心野	送崔五太守	富士市依田原町
本多 玉蘭	宗之問詩	富士市中柏原新田
村上 艷星	何景明の詩	富士市高島町
村松 英子	待たれつる	富士市中島
望月 碧雲	陸游詩	富士市平垣
門西 恵花	送愚山遊嵩少	富士市下横割
山田 由賀	鮑參軍	富士市津田町
渡瀬 ひなの	百人一首より七首	富士市富士岡
渡辺 恵子	任昉の詩	富士市青島町
渡邊 晃岳	漢詩	富士市厚原
渡邊 晃身	夏の歌	富士宮市山本
渡邊 唐雪	金子兜太の句	富士市横割

硬 筆 入賞者 P 49～51

大 賞

和泉 螢嶺 わが心 富士市松本

優秀賞

植松 永香 春の香り 秋の野（万葉集より） 富士市中野

奨励賞

戎 松苑 和歌 富士市富士見台

影嶋 岳陽 枕草子 木の花は 富士市石坂

硬 筆 入選者

石川 咲朱 秋のうた 富士市伝法

稲葉 広雪 奥の細道の一節 富士市岩本

岩崎 香苗 涼感の歌 散らし書き 富士市厚原

大野 香麗 大伴家持のうた 富士市石坂

影山 和嶺 五月雨の 富士市岩本

鈴木 柚朱 千字文 臨書 富士市津田

土屋 永桜 北原白秋 富士市伝法

永島 怜朱 山ねむる 富士市一色

長橋 栄華 本阿弥切の臨書 富士市川成島

原田 朱雪 きみがため 裾野市千福が丘

藤巻 玲更 源氏物語 - 空蟬 - 富士市原田

北條 心野 与謝野晶子の詩 富士市依田原町

吉田 栖香 春日野の 富士市本町

富士市展作品応募状況

部門	内訳 回 (年度)	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
		平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
書 道	毛筆	99	88	91	91	96	81	87	95	85	76	79	74	76	68	64	64	63	63	67	66
	硬筆	55	52	52	60	58	57	57	58	55	55	59	57	52	48	43	24	33	30	23	17
	計	154	140	143	151	154	138	144	153	140	131	138	131	128	116	107	88	96	93	90	83
工 芸	陶芸	37	32	38	39	44	49	49	30	43	33	23	22	15	14	12	9	9	6	5	8
	染織	29	30	26	37	27	25	26	19	20	17	26	28	25	22	23	10	3	8	13	11
	工芸総合	2	2	7	4	18	15	14	15	12	17	12	13	9	11	10	4	6	5	4	7
彫刻	計	68	64	71	80	89	89	89	64	75	67	61	63	49	47	45	23	18	19	22	26
	彫刻	14	11	11	9	10	4	4	3	4	3	4	3	3	4	4	5	5	3	6	4
絵 画	写真	182	175	165	157	149	157	140	133	136	130	115	120	118	99	101	83	84	81	70	70
	洋画	119	116	118	105	107	97	92	86	82	76	67	73	53	53	47	33	38	41	33	35
	日本画	31	41	37	33	42	40	36	32	34	32	34	30	31	26	27	17	20	20	13	14
	計	150	157	155	138	149	137	128	118	116	108	101	103	84	79	74	50	58	61	46	49
	デジタルアート	39																			
総 計		568	547	545	535	551	525	505	471	471	439	419	420	382	345	331	249	261	257	234	271



富士山とともに 輝く未来を拓くまち

SDGs 未来都市 富士市

富士市行政資料登録番号 R6-21

印刷用の紙にリサイクルできます。

第58回 富士市展図録

令和6年9月15日発行

発行 富士市

印刷 株式会社 文光堂